

今一月廿五日後あるなり宮内は硝子の外に
さうくも吹そつまう。明世宮は出立準備。二十五より
西殿河成にあり。すうすうにたつて居りあり。
尚心なき武運豆をたつて下より討伐あり。
綿隊たら又御守りあり。まう。

文は前後して、筆もたつた。て續々
にくつてせうがこれ。て別れ改まう。

一月廿五日後

警備は

高木 子成 文より
高木 子成 文より